



さくらやまべ



新年に思う

明けましておめでとございます。

毎年この時期、今年こそは良い年でありますように、と期待を込めて祈ります。

昨年は豪雪、豪雨、地震、そのうえ何十年来なかった御嶽山の噴火。まだ足りなくて年末に土砂崩れと…。細長い日本列島の地の底で、眠りから覚めた大鯰が暴れ出したのかしら？なんて…大恐！

鯰さんまだまだ仮設住宅で苦しい思いの方がいっぱいなんだからお願い、静かに治まってと願っていたら、この多忙な年の瀬に大金を使って選挙。国を守る筈の貴重な国民の一票がなぜか半分近く使われなかったなんて、残念でなりません。国を引っ張る指導者の顔ぶれは相変わらずで国の借金はどうなってるのでしょうか。

戦後の引揚げを体験している私は、私の大事な子供、孫それからずっと続いていく大切な「子孫」に「私達の国日

本は、人を殺し合う悲惨で、惨めな戦争は絶対にしない国だから安心して暮らせるよ。」と伝えていきたいです。

さて新年、昭和から数えれば丁度90年の節目の年です。雄大な北アルプス常念岳に見守られ、城を中心に栄えてきた松本の東に位置する我が郷土「里山辺」を見渡す時、美ヶ原から始まる清流の岸に春は桜、夏は涼風、そして秋には日本一のぶどうの香り、冬は湧き出する温泉。と四季折々の誇れるものを持つ山辺の人々の優しさを絆として、県北部の小谷村、白馬村が昨年の神城断層の大災害の中で、一人の死者も出さなかった絆りを見て、また一年笑顔を力として頑張りたいと思います。

館報編集委員 細野 麗

里山辺公民館
電話 32-1077
FAX 37-0640

わが町紹介

● 藤井町会 ●

「気寄りと絆」の町会

藤井町会を紹介したいと思います。多少大袈裟な表現があるかも知れませんが、新春のめでたさに免じてお許しを願う。藤井町会を北側に山を背負った南向きの斜面から、追倉沢川を挟んで兎川寺町会へと続く平地部分で構成されます。町会加入世帯が2百十数

人権啓発推進講演会

第65回人権週間を迎えて、人権啓発推進講演会が、12月4日に里山辺公民館講義室で開催されました。

今回は、一般社団法人g i d . j p 甲信支部の長岡春奈副支部長を講師にお迎えし、「性同一性障害の当事者、家族を救う、あなたの理解と声掛け」と題した講演でした。性同一性障害というのは、身体の性別と心の性別(性自認)の不一致により、苦痛や苦悩が生じている状態をさす精神医学上の疾患名であり、日本には平成13年度で4万6

戸の中規模町会です。約半世紀の間に倍増しました。特に最近宅地開発等が進み新しく住む方が増えました。皆様方が協力的で大変活気ある町会です。町会独自の行事も沢山あります。毎年8月14日に行われる盆行事、野球やゲートボール、子供さん向けの室内遊戯、懇親会、夜は盆踊りです。40年近く続く親睦旅行や文化祭。藤井町会の氏神「白山神社」の祭典もあり、この祭りは小学生を中心に行われ、子供達はお囃子やお船の飾り付けを習う中で、長幼の序等を躰けられ次の段階に進みます。最後に自慢話です。

千人いるということです。男性として生まれてきたが心は女性、またその逆もあり、誰もわかってくれないという状況の中で苦しみ、悩み、自らの命を絶つ人も多いそうです。

人間として生まれてきたからには、誰しも平等に生きる権利があります。

これからの私達は、性同一性障害に対して真摯に向き合い、偏見や差別のない社会を早急に作って行く必要を強く感じた意義のある講演会でありました。

館報編集委員長 丸山 健一



文化祭で子どもたちがお囃子を披露

里山辺には町会対抗の競技会が幾つか有りますが、運動会では特段に燃えます。一昨年は惜しくも準優勝でしたが、昨年はしつかり優勝させて戴きました。藤井町会、これからも頑張りますので宜しくお願い致します。

藤井公民館長 藤井 敬善

入山辺里山辺財産区

議会議員のみなさんです。

選挙において次の方々が当選されました。任期は平成26年11月6日から4年間です。

新井勝由(南小松)、花岡久雄(兎川寺)、布野兼一(西荒町)、花岡吉司(藤井)、金井東晃(上金井)、二俣孝(湯の原)、布野竹二(荒町)、玉井利夫(新井)、野口豊市(薄町)、小岩井洋(林)、百瀬啓(西小松)、谷崎直澄(下金井) 同管理運営委員会委員 藤森重登(兎川寺)、出井東亜雄(北小松)

次世代を担う若者に期待!

平成26年度里山辺地区で成人になられた方々は、男性63人、女性61人の合計124人です。おめでとうございます。

成人式を迎えて

三村 のぞみ(薄町)



三村 のぞみさん

成人式を迎え、家族、友達、先生など今まで私と関わってくれたすべての人達に感謝したいです。私は現在、東京の大学に通っています。一人暮らしを始めて両親の有難さや家族の温かさを感じました。感謝する気持ちを忘れずに日々の生活を過ごしていきたいと思っています。これから言動に責任を持ち、周りの人から信頼してもらえるような大人になりたいです。そのためにも残り二年間の学生生活は、夢に向かい頑張ります。

報恩謝徳(ほうおんしゃとく)

坂下 力也(藤井)

「報恩謝徳」という言葉がある。

自分が受けた恩や善意の心に報い、感謝の気持ちを持つ、という意味だ。

高校を卒業して一人暮らしをするなかで、自分が今まで、どれほど家族や友達に支えられてきたのかを痛いほど知った。家に帰れば三度の飯があり、そんな当たり前が、いかに幸せであったか。感謝しても、足りないくらいだ。

だから私は、この成人式で境に親を始め支えて頂いた多くの人に少しずつ恩を返し、常に向上心を持って前進する覚悟であります。



仲良く成人
左 坂下力也さん
右 大山健さん(上金井)

さわやか健康教室

歌で健康カマッパ

歌を歌って楽しみなが健康になる、さわやか健康教室(講師、生涯学習音楽指導員木次由美子先生)が12月10日に開かれ18人が参加しました。

講座ではボイストレーニングを行い腹の底から声を出します。

次に「若いってすばらしい」を歌いながら体をリズムに合わせて動作の複雑な体操をしました。二つの事を同時に行うことで脳内年齢も若返るそうです。

テキストに載っている曲を何曲か歌っているうちに体がポカポカしてきました。声を出しながら息を全部吐ききること疲れのくらい腹筋を使い、肺一杯息を吸う。大きな声を出すことでストレス発散になり、諸器官も活発に動くそうです。

最後に、NHKの朝の連続テレビ小説「マッサン」の主題歌「麦の唄」を歌いましたが難しい曲なので何度も練習しました。

歌い方、発声方法などの質問もあり、程よい疲れが出たところで終了時間になりました。

館報編集委員 麻原 典明

さどやまへ散歩

三九郎が1月11日に行われました。寒い中松集めを大人と子供達が協力して行っていました。

以前は子供達が中心となっていた作っていましたが、今では大人の人達が中心になって作っているようです。これも少子化のせいでしょうか?

また、里山辺地区の中には三九郎を作る場所の確保がむずかしく中止している所があるそうです。伝統行事ですのので子供達のためにも再開できれば良いと思います。

館報編集委員 赤木 秀雄



藤井町会の三九郎

人事往来

地域づくりセンター、丸山主事が産休のため12月2日より朝倉光貴さんが着任しています。よろしく願います。

里トピックス

◆里山辺地区卓球・ゲートボール大会
11月16日(日)
開催の結果は次のとおりです。
【第58回卓球大会】
総合

優勝 上金井町会
準優勝 南北小松町会
第三位 荒町町会

団体
優勝 上金井町会
準優勝 南北小松町会

男子個人(敬称略)
優勝 新井宏幸(美里町)
準優勝 川上正樹(鬼川寺)
女子個人(敬称略)

優勝 古幡敬子(鬼川寺)
準優勝 渡邊佐知子

【第35回ゲートボール大会】
優勝 下金井A
準優勝 新井B
第三位 上金井A
第四位 下金井B

◆里山辺ゲートボール協会秋季リーグ
結果は次のとおりです。
優勝 下金井西(12勝1敗)
準優勝 西荒町(11勝2敗)
第三位 上金井A(8勝5敗)

◆図書館コーナーの本の入れ替えをしました
12月12日に、中央図書館の

本を入れ替えをしました。